

“安心安全&減災アイテム”に

IP型 緊急地震速報 高度利用サービス “SH700-J”

館内放送連動・外部機器制御用端末 “SH500-J”



SH700-Jは、緊急地震速報“高度利用”専用端末です

“高度利用”専用端末は、

地震発生時、予め入力された端末の「緯度・経度・地盤増幅率」と、気象庁から高度利用情報として送られてくる「震源の緯度・経度・深さ・大きさ（マグネチュード）」を掛け合わせ瞬時に演算、設置地点での「予測震度」と「予測猶予時間(秒)」を割り出します。

(発報震度は、お客様にてお決め頂けます)

演算結果の予測震度が、端末にて設定された**発報震度(震度1～7)**を超える場合、端末自身が「**予測震度**」と「**予測猶予時間**」ならびに主要動(S波)到達までの「**カウントダウン(10～1秒)**」を発報すると同時に、端末裏面の外部機器接続端子から、外部の様々な機器との連携制御を可能とする「**制御信号**」を出力します。

この「**制御信号**」により、

端末からの音声発報のみならず、建物施設の**緊急放送システム連携**やエレベータ即時停止システム、ドアゲートのパニックオープン等、**地震発生時、人の手を介さず多様なシステム・プラントの制御や緊急停止が可能**となり、人命・人身ならびに、当該事業への影響を抑える減災効果が期待できます。



【緊急地震速報・高度利用サービス情報伝達の仕組み】



- 1 地震発生後、全国約1,000ヶ所の観測点のうち震源に近い地震計から得られたP波(初期微動)の解析を受けて、気象庁が「緊急地震速報」を配信します。
- 2 当社管轄の緊急地震速報配信サーバーがこれを受信し、事業所・自治体・学校や工場等に設置された緊急地震速報受信装置にインターネット回線を通じて震源地情報が送信されます。
- 3 緊急地震速報受信装置が瞬時に「予想震度」と「予測猶予時間」を算出、端末自身の音声発報ならびに、接続された外部機器・システム・プラントの制御を行います。

緊急地震速報の現状

現在、B2C コンシューマー(一般個人)向けには、スマートフォンの緊急地震速報アプリやテレビ・ラジオの緊急地震速報が浸透しています。
一方、多くの企業・自治体・学校・工場からは、緊急地震速報 高度利用サービスが支持されています。

(支持される理由)

- 震度5以下の地震でも緊急地震速報を享受したい
 - > 震度2~4でも、揺れる前に地震の情報を知りたい
 - > 社員・従業員の防災・減災意識を高めたい
- 「防災力」は「想像力」！ 小さい地震であっても「被災イメージ」想像育成の機会にする
- 「予測震度」と「予測猶予時間」を知り、減災行動に繋がりたい
 - > 人的被災を“0”にし、BCPの初動体制を確保する
- 固定の専用端末からの発報を受けたい
- 揺れる前に、外部機器やシステム・プラントを制御したい
- 社内の放送設備へ連動させ、緊急地震速報を事務所や工場のスピーカーから流したい



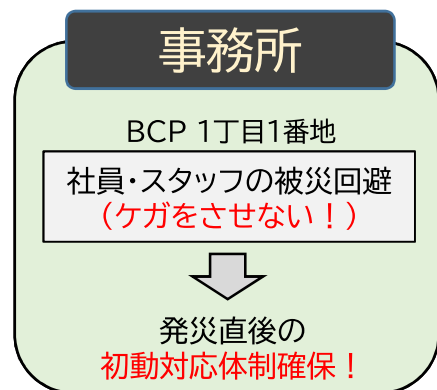
企業・自治体・学校・工場では、緊急地震速報 高度利用サービスをBCPのマストアイテムと捉えています

IP型端末は、インターネット環境があれば日本全国どこにでも設置できます。

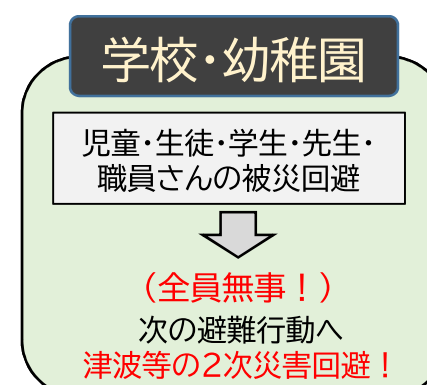
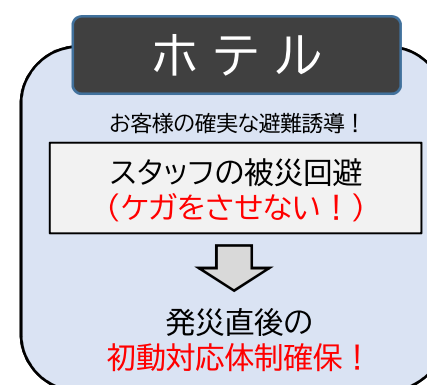
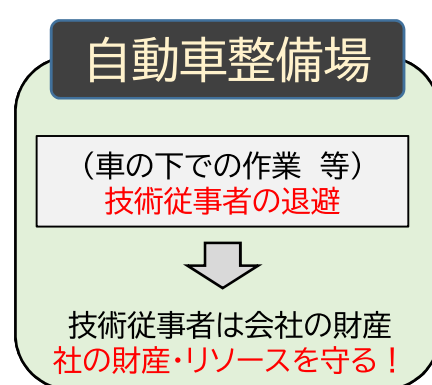
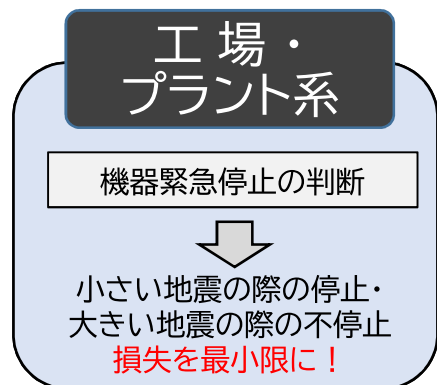
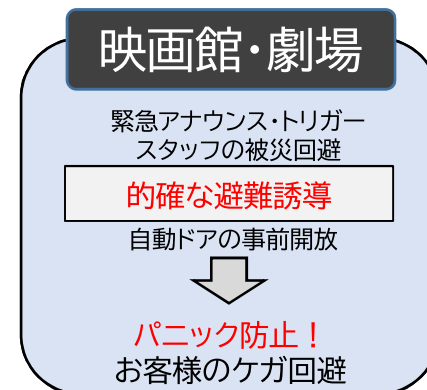
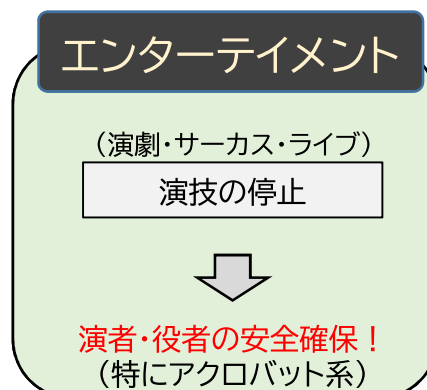
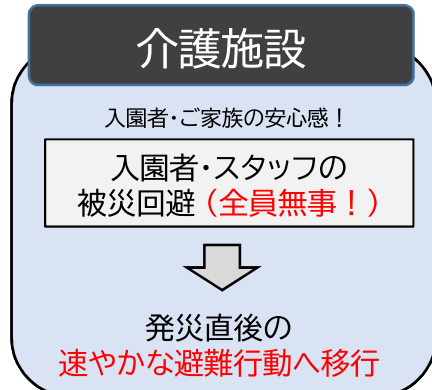
なお、SH700-Jでは、緊急地震速報の他、気象庁が発表する「**大津波・津波/警報・注意報**」の発報も可能です。

緊急地震速報 高度利用 ご利用者様 導入理由

来年4月の介護施設BCP策定義務化にお役立て下さい。



事業所内の防災意識の向上

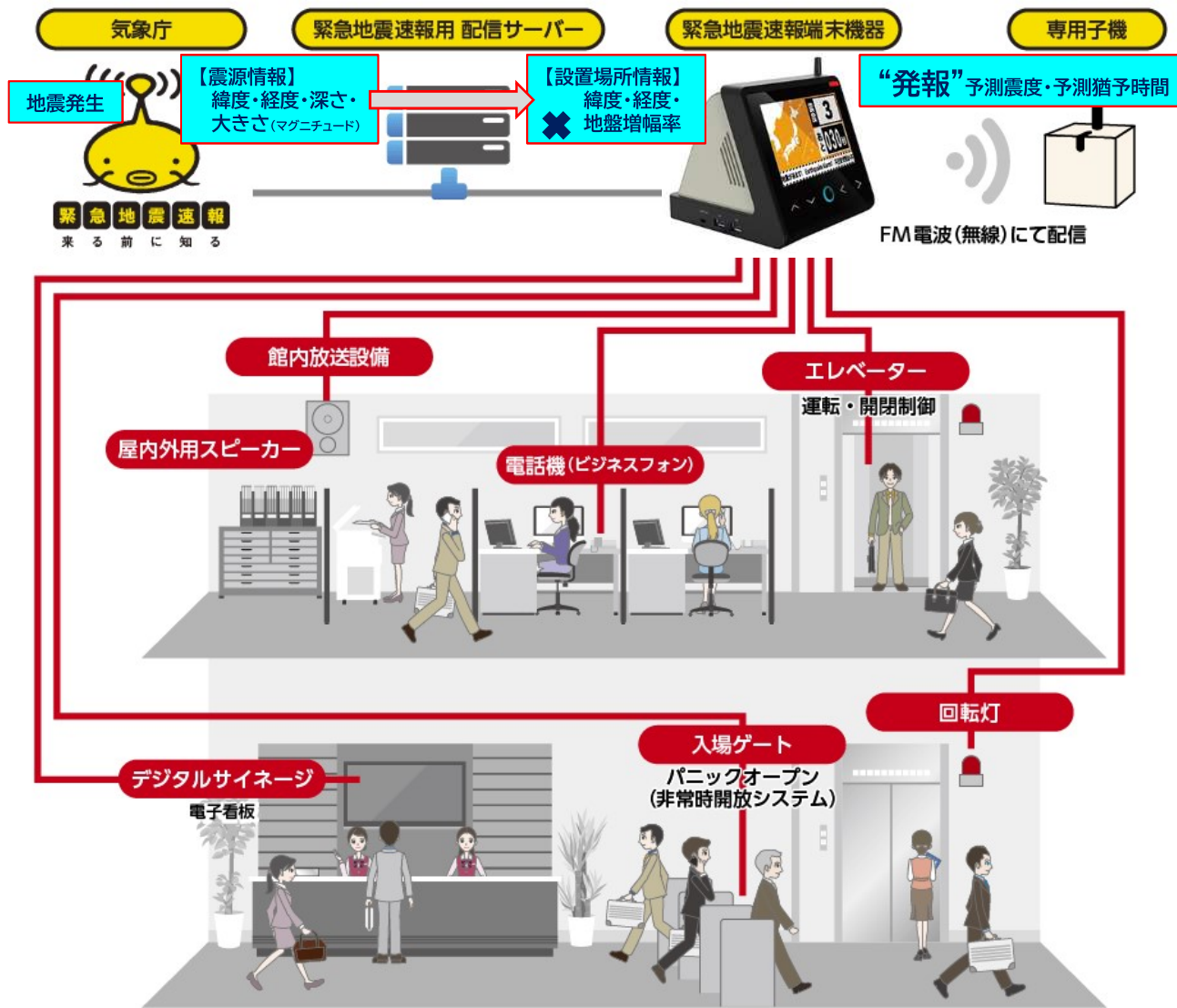


中規模地震でも机の下に入る習慣を
～防災教育連携～

その他、緊急地震速報 高度利用は、対象施設の特性に合わせ様々な用途にお使い頂けます。

エンターテイメント現場のBCP対応ならびに、発災時の人的・経済的損失の最小限化にお役立て下さい。

各種外部機器接続・制御イメージ 活用事例



【SH700-J 外部機器制御用接点端子】



【外部機器連携事例】 <メイコー株式会社 様>
放送局・デジタルサイネージ向け
緊急地震速報自動インサートシステム



“Inter Bee 2022” @幕張メッセ
メイコー株式会社 ブースにて

“高度利用” 専用端末 SH700-J の特徴



HDMI接続

HDMI 接続
外部モニター
出力対応

HDMI 接続・自動切り替えで
デジタルサイネージとして活用

モニターの自動電源 ON、チャンネル切り替えはモニター側の仕様依存します。



6 多言語対応

他言語
6ヶ国語
対応

海外からのお客様にも
的確に情報を伝える多言語対応



子機・多重接続

子機
無線中継
対応

従来機種に比べ
電波到達距離が長くなりました



発報震度レベル設定

◀ 気象庁震度階級1~7の間で、任意の震度で発報するように設定を行うことができます

詳細な注意喚起からカウントダウンの有無など、複数のアナウンス内容から選択設定することができます ▶

発報表現設定

発報履歴の管理

◀ 過去9件の発報履歴(震源地・発報内容)を機器本体の液晶画面で確認することができます

震度レベルを選択して試験発報することができ、動作確認だけでなく避難訓練などにも活用できます ▶

端末動作確認テスト

固定IPの設定

◀ 固定IP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー、PROXYサーバーの設定に対応します

43種類のアナウンスがあらかじめ登録されており、設置場所の特性に合わせたアナウンス放送ができます ▶

告知アナウンス

津波注意報・警報発報

◀ 津波注意報・津波警報の受信にも対応。地域や設置場所に依りてON/OFFの切り替えができます

外部連動制御する機器を接続する端子を4系統備え、警報を受信したときに制御することができます ▶

外部接点設定機能

LINEOUTディレー機能

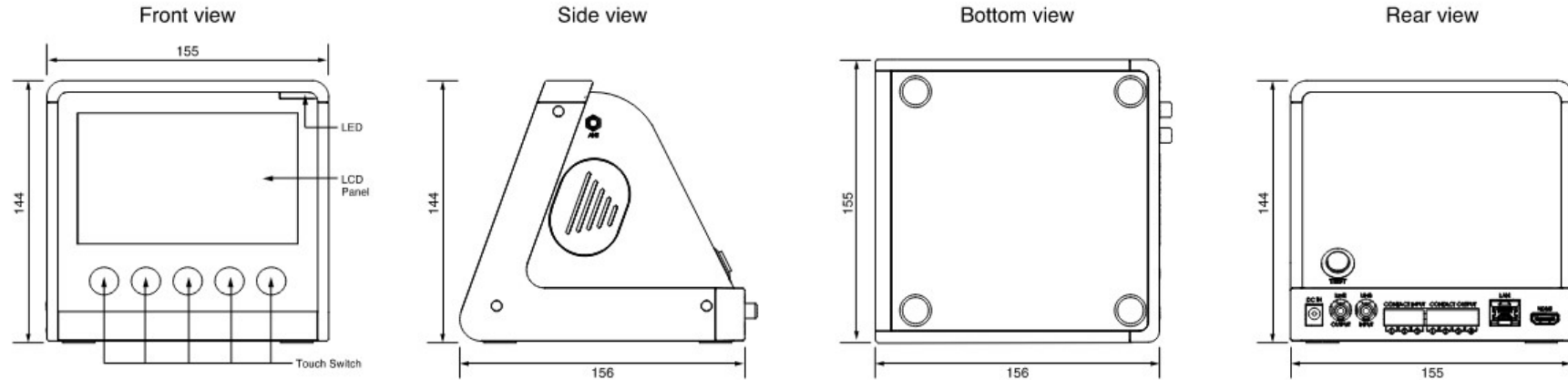
◀ 外部音声出力のタイミングを調整することができ、外部接続機器との音声放送の干渉を防ぎます

通常待受状態のとき外部機器からの音声入力を出力し、警報を受信した時に自動で放送を切り替えます ▶

音声スルー機能

SH700-J 本体 外観図・仕様

■ 外観図



■ 仕様

名称	DPASS 緊急地震速報受信端末	
品番	SH700-J	
本体外形寸法	巾 155mm、高さ 144mm、奥行き 156mm (突起部除く)	
重量	0.6Kg	
電源電圧	DC5V AC アダプター使用 (出力: DC5V, 3000mA 以上)	
消費電力	待受 2.9W 最大 6.4W	
温湿度条件	操作時 0 ~ 40°C 非動作時 -10 ~ 60°C 湿度 10 ~ 80%RH 結露なきこと	
電文受信方式	IPv4 インターネット常時接続環境での TCP/IP 方式	
出力	外部制御出力 (DO 1/2/3/4)	無電圧ループ接点出力 (DO1~3 A接点, DO4 B接点) 定格電圧: 38V, 最大ピーク電圧: 60V 定格電流: 1000mA, 最大ピーク電流: 1000mA
	内蔵音声出力 (SPEAKER)	2W
	外部音声出力 (LINE OUT)	RCA-MONO, 出力電圧: 800mVp-p Max., 5dBm(最大)/100K Ω不平衡
	信号出力 (DEBUG)	TTL レベル
	HDMI出力 (HDMI)	HDMI1.4

入力	電源 (DC IN)	AC100V (50/60Hz) DC5V-3000 m A
	外部音声入力 (LINE IN)	RCA-MONO, 入力電圧: 800mVp-p Max., 100K Ω不平衡
	ネットワーク (RJ-45)	10/100Base-T 配信サーバーとの通信ポート: 9001
	外部接点入力 (DI1/2/3)	電圧ループ接点出力に対応。出力電圧: 5V, 出力電流: 5mA
表示 / 操作音	LCD 部 (INFORMATION)	端末設定情報および電文受信内容を表示
	赤 LED (POWER)	電源供給状態およびハードウェア接続状態の確認
	緑 LED (STATUS)	ネットワーク接続状態および電文受信の確認
	ブザー	ボタンの操作確認音
接続コネクタ	電源	外径: 6mm, 内径: 2mm
	LINE OUT	RCA ビンジャック
	LINE IN	RCA ビンジャック
	HDMI出力	出力解像度1920 x 1080
	DO	スクリューレス 3.5mm ピッチ
	DI	スクリューレス 3.5mm ピッチ

端末開発製造販売元・配信業者: 株式会社ドリームウェア <https://www.dpass.jp/>

館内放送連動・外部機器制御用端末 SH500-J

SH500-J 高度利用”専用端末

幅220mm×高さ69.2mm×奥行220mm（突起部除く）



<両側面スピーカー内蔵>

スタンドアロン据え置き一般端末として利用可能です

※子機の接続・使用はできません。

【主な特徴】

■外部機器接続機能標準装備

外部機器接続端子を4系統標準搭載。複数の外部装置・設備への接続・連動が可能です。また、外部音声スルー機能を搭載した端子を装備。

■設定要らずのサーバー登録

発報震度・設置場所情報等の設定は、機器メーカー(ドリームウェア)にてサーバーで登録。

■高度利用緊急地震速報に加え、津波情報対応！

大津波警報・津波警報・津波注意報も受信・速報いたします。

■豊富な報知パターン REIC・NHK音にも対応

従来の「詳細表現」「曖昧表現」に加え、曖昧表現でカウントダウン、未報知パターン選択可。また、冒頭告知音にNHK音の選択も可能です。

■多彩な告知音声(43種類)避難誘導音声も搭載

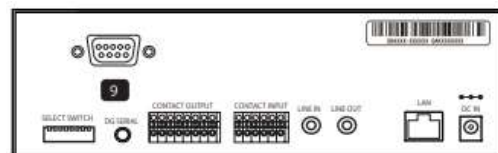
地震報知終了後に「避難誘導音声」のアナウンス音声を追加。「避難誘導音声」は様々なシーンに対応します。(避難訓練活用可)

SH500-J 本体 外観図・仕様

■ 外観図



(前面・側面)



(背面)



(側面)

■ 仕様

DPASS緊急地震速報受信端末 本体(親機) (SH500-J)		
名称	DPASS 緊急地震速報受信端末	
品番	SH500-J	
本体外形寸法	幅220mm×高さ89.2mm×奥行220mm (突起部除く)	
重量	1.9kg	
電源電圧	DC12V / ACアダプタ使用 (出力: DC12V / 800mA)	
消費電力	待受1.0W 最大1.2W	
温度条件	動作時0~40℃ / 起動時-10~60℃ / 湿度10~80%RH (結露なきこと)	
電文受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式	
出力	外部出力 (DO 1/2/3/4)	無電圧ループ接点出力(A接点,B接点 設定可能) 定格電圧: 38V / 最大ピーク電圧: 60V 定格電流: 1000mA / 最大ピーク電流: 1000mA
	内蔵音声出力 (SPEAKER)	2W
	外部音声出力 (LINE OUT)	RCA MONO 出力電圧(最大): 2.5Vp-p (+4.2dB) 入力インピーダンス: 10kΩ 不平衡
	信号出力 (DEBUG)	TTLレベル
入力	電源 (POWER)	AC100V (50/60Hz) / DC12V-800mA
	外部音声入力 (LINE IN)	RCA MONO 入力電圧(最大): 1.2Vp-p 入力インピーダンス: 33kΩ 不平衡
	ネットワーク (RJ-45)	10/100Base-T 配線ケーブルとの接続ポート: 8001
外部音声入力 (DI 1/2/3)	電圧ループ接点出力に対応。出力電圧: 5V 出力電流: 5mA	

機能	発報震度レベル設定	気象庁震度階級: 1~7の階で設定 ※接点出力(DO)に取りキャンセル報での動作選択も可能
	発報表示設定	詳細 / 震度1 (カウントダウン有) / 震度2 (カウントダウン無)
	端末動作確認テスト	震度レベル3段階 (3 / 5階 / 7 / 警報時間20秒固定) ループ
	告知アナウンス設定機能	地震発報後、避難誘導音声の設定可能
表示 / 操作	津波注意報 警報受信機能	津波注意報 警報受信可否設定が可能
	LINE OUTディレイ機能	無し / 1秒 ~ 10秒 選択
	外部出力(接点出力) 設定機能	接点出力のディレイ / 出力時間 / 出力方式設定が可能 ディレイ: 無し / 100ms ~ 900ms / 1秒 ~ 10秒 出力時間: 無し / 100ms ~ 900ms / 1秒 ~ 60秒 120秒 / 180秒 / 240秒 / 300秒 / 連続 / AF連動 出力方式: 発報時出力 / 発報後出力
	音声スルー機能	LINE IN音声をもそのままLINE OUTへスルー/パスする機能 緊急地震速報が発生した場合、LINE IN音声を通断しLINE OUTから発報動作を行い、発報が終了するとLINE IN音声の出力を再開する機能
接続コネクタ	赤LED (POWER)	電源供給状態およびハードウェア接続状態の確認
	緑LED (STATUS)	ネットワーク接続状態および電文受信の確認
	ブザー	機器稼働確認音
接続コネクタ	電源	外径: 6mm / 内径: 2mm
	LINE OUT	RCA ヒンジジャック
	LINE IN	RCA ヒンジジャック
	DG-SERIAL	φ3.5 4極ジャック
	RS-232C	D-SUB 9PIN
DO	スクルーレス 3.5mmピッチ	
DI	スクルーレス 3.5mmピッチ	

端末開発製造販売元・配信業者 : 株式会社ドリームウェア <https://www.dpass.jp/>